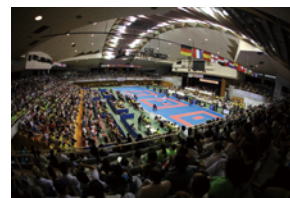


空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会 プレミアリーグ沖縄に6000人



2020年東京オリンピック・パラリンピックで空手道が正式種目化実現を目標に、空手道関係者によって組織した会です。国内外を問わず広く一般社会に向けて、空手道の魅力、ニュース、インフォメーションを発信するとともに、空手道関係者へのフィードバックを通してオリンピックへの意識を高めることを目的とします。



立ち見も出た大会会場。

Latest News

空手道のF1「プレミアリーグ」初の日本開催 空手道発祥の地 沖縄で

2014年8月30(土)～31日(日)、沖縄県立武道館(那覇市)に、45の国と地域から350名をこえる空手道選手・関係者が集まり、「プレミアリーグ沖縄大会」が開催されました。

プレミアリーグとは、世界空手連盟(WKF)が主催し、2011年から行なわれている国際オープン大会で、年間を通じ約10大会が世界各地で開催されています。各国の選手たちは、プレミアリーグ各大会を転戦し、成績に応じて加算されるポイントにより、年間のグランドチャンピオンを目指しています。

日本でプレミアリーグが開催されたのは、今回が初めてのことでした。2011年当初からの願い、空手道発祥の地・沖縄県での開催が実現しました。会場に

は2日間でのべ6000名の観客が詰めかけ、トルコ、ブラジル、フランス、クロアチア等から来日した招待選手の世界チャンピオンたちの最先端の技や、彼らと日本代表選手たちとの対戦に見入っていました。

世界の有名選手同士の対戦が日本で観られたことはたいへん意義深く、また、日本における空手道人気を改めて印象づける大会となりました。

11月に世界大会

日本からは全日本強化選手(ナショナルチーム)と沖縄県選手団が14種目に出場しました。

ナショナルチームメンバーは11月、本年最大の行事であるWKF第22回世界空手道選手権大会(隔年開催、本年はドイツ・ブレーメン)に挑みます。